

支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

支所名	鹿島支所	支所長名	梶原五郎
-----	------	------	------

支所の 経営資源	支所関連の 主な予算				
	構成人員		職員	嘱託	計
		計	17人	2人	19人

「支所の使命 (組織の存在価値)」	<p>鹿島支所の使命は、 市民のために役に立つ所として 市民の負託にこたえる支所である。 本庁との連携を密にする。 市民サービスについて迅速・的確に処理する。 身近な情報を提供するとともに広聴の場を設定する。 頑張る・元気な・美しい地域づくりを支援する。 ふれあい・支えあう地域コミュニティを形成する。</p>	組織目標像	<p>【施策の目標像】 広報・広聴体制を確立する。 安全・安心な地域を構築する。 共生・協働による活動の場を支援する。 頑張る・元気な・美しい地域づくりに挑戦する。</p> <p>【組織の目標像】 常に数値目標を設定し、目標達成に向けてやる気と熱意のある組織 知恵を出す(創意工夫)、汗を出す(実践行動)組織 笑顔・元気・迅速・丁寧・的確をモットーとした組織 少数職員で対応できる組織</p>
----------------------	--	-------	--

平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
広報・広聴の充実	年12回(毎月1回)発行 年2回(4月・11月)	身近な情報・支所便りの発行 ふれあい座談会(自治会別)の実施	毎月1回発行6回 1回(4月)実施	
安全・安心な地域づくり	21,915日を達成(年度末) 2,540日を達成(年度末) 月1回実施 年1回実施(9月) 集中豪雨に対する浸水地域の解消	交通死亡事故ゼロの記録継続(啓発) 無火災の記録継続(啓発) 防犯・道中禁煙啓発(広報・パトロール) 自主防災組織全体防災訓練 排水路の整備	ゼロの記録継続 記録継続 月1回実施6回 0回(天候不良) 排水路の改修整備(8月)	
総参加のコミュニティ活動	年3回以上 年4回以上 毎月1回 年3回	地区コミとの意見交換会の実施 自治会長説明会等の実施 ボランティア活動への参加 支所・地区コミ・自治会合同会議の開催(三者連携)	3回(4月2回・5月) 2回実施(4月・7月) 毎月1回4/6 1回7月	

支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

頑張る地域づくり	鹿島地区まつり（地区コミ主催）の支援 鹿の子ゆり自生地整備 ブルー・ツーリズム事業の支援 畜産農家の育成支援 定住促進空家バンク作成	ウミネコまつり・みなとまつりの側面支援 野焼きの実施 ブルー・ツーリズム実行組織の育成支援 新規就農者の発掘・遊休農地を活用した増頭支援 空家賃貸借の確認調査	ウミネコまつり5月, みなとまつり8月実施 下半期実施予定 鹿の子百合まつり（台風接近中止）準備支援 遊休地の適地支援(2戸) 確認調査下半期実施予定	
元気な健康づくり	前年度以上の受診者数確保 健康づくり教室（地区コミ主催）の支援	基本健診及び各種がん検診等受診対象者の啓発 健康づくり教室（体操・料理）の側面支援	特定健診・肺がん検診受診者数の減 栄養教室1回実施	
環境美化の推進	不法投棄ゼロ・ポイ捨てゼロ 月1回7ヶ所 年6回	職員パトロールの実施 ごみステーションでの分別指導 清掃ボランティアの実施	12回実施 24回実施 4回実施	
市税・使用料等の収納向上	収納率100%達成の継続	未納者への催促連絡・戸別訪問 滞納相談・課内会議・周知放送の実施	平成19年度収納率 100%達成	
下甑島の連携確立	下甑島の支所間連携確立	下甑支所との相互交流・連携強化（災害応援・イベント開催・ブルー・ツーリズム等）	食の祭典打ち合わせ1回 9月実施	
職員の連携・資質向上	災害時情報収集・急患搬送業務等 課内ごとに二つテーマ設定 毎月1回実施	横断的な支所協力体制の強化 自主勉強会の実施 グループ長会議等の実施	課を超えた応援体制実践 課ごとにテーマ設定実践 3回実施	
年度中間総括	台風接近のため防災訓練が実施できなかったこと（次年度早い時期に計画予定）や各種の健康診断について前年度に比べ受診者数が減ったことなど反省すべき点もあるが、他の事項については、概ね目標を達成している。			
年度末総括				